

平成 28 年度 うさみの園ヘルパーステーション 事業報告書

1. 事業運営の概況

平成 28 年度事業計画に沿い、在宅プランに基づいた適切な訪問介護サービスを提供し、利用者様の変化を常にケアマネジャーへ報告し連携に努めた。

適切なサービスが送れるよう、情報共有に努め、精神的な面もサポートし資質向上に努めた。

6年に1度の事業所指定更新を行った。

2. 事業計画実施状況

(1) 業務の改善

・居宅プランに沿い訪問介護計画書を作成し適切な訪問介護サービスを提供し、できる事を維持継続することで、在宅で安心して自分らしい生活が送れるように環境作り等に努めた。また、利用者様の変化を常にケアマネジャーへ報告し連携に努めた。

・チームケアを心掛け、計画書の作成・見直しを行った。計画に沿った適切なサービスが送れるよう、些細な事も口答やメール、ケア会議で報告を行った。情報共有により精神的な面もサポートし、利用者様やご家族との信頼関係を築き資質向上に努めた。

・事業の拡充を図るため、人員確保に努めサービス体制の強化を図ったが、人件費の問題から 11 月より縮小となった。利用者人数は、入院・施設入所・死亡もあったが、1月までは常に実働人数を35～39人に保てた。しかし、2月・3月は33人と減少傾向となった。平成 28 年度の派遣件数は 4,359 件、1 日平均 14.3 件であった。

(2) 環境整備・安全衛生管理

- ・専用車1台と共有車1台で時には私用車も使用し法令遵守、安全運転に心掛けた。
- ・訪問者が感染源とならないように手洗いやうがい、施設の規定に従いマスクの着用を徹底した。常に携帯用アルコール、グローブ、使い捨てエプロン、予備マスク等を常に持ち歩くようにし、食中毒にも常に気を付けた。
- ・感染症に自分だけでなく家族が罹患した場合も、早めの医療機関への受診、出席停止表に基づき家庭内療養に努め感染拡大を防いだ。

(3)職員の資質向上

- ・常勤者2名それぞれ、訪問介護適正研修に参加し業務の改善向上に努めた。
- ・伊東市が主催する災害時の食の支援について実習、試食、意見交換を行った。
- ・介護予防・日常支援総合事業に関する事業説明会に参加し、スムーズな移行ができるよう知識を得て参考にした。
- ・施設が主催する内部研修や委員会に積極的に参加し、課題を共有し業務の改善に努めた。又、施設内の行事に出来る限り参加し交流を図った。
- ・ヘルパーステーション会議を実施し、課題の分析等に努めた。
- ・サービス担当者会議への出席や訪問系サービス部会（年6回）に出席し、関係機関との連携を強化するために情報交換や意見交換等を行うことにより専門性の向上に努めた。

(4)災害対策と事故防止

- ・災害対策時は、施設内のマニュアルに沿って行えるよう、施設内総合防災訓練に参加した。
- ・事故防止マニュアルに沿ってリスク回避を心がけ、利用者様の安全確保を行った。

(5)地域との連携

- ・地域包括支援センターとの連携を図り、地域の利用者様が住み慣れた地区で自宅での生活が維持できるように支援した。
- ・高校生や初任者研修の実習生の受け入れを行った。